



梅雨があけ、毎日プールあそびを楽しむ子どもたちの様子がみられます。この夏、旅行など遠出の計画を立てているご家庭も多いかと思えます。安全に、楽しい思い出をたくさん作りましょう。

8月の保健行事

*0歳児健診

8月10日(木) 10:00~

アタマジラミについて

症状: 頭皮のかゆみ、ひっばってもとれない毛髪に0.5mm程度の丸い物がある(卵)

感染したときには・・・

- ・病院を受診し、処方された薬を医師の指示があるまで使用する。(スミスリンは卵にはほとんど効果がないため医師の指示に従い正しく使用することが必要です。)
- ・洗髪後、目の細かいクシでとくす。
- ・シーツ、枕カバー、衣類などは毎日清潔な物を使用する。
- ・身の回りの物の共用は避ける。



暑い夏を元気に乗り切るポイント

1. 水分補給

大量に汗をかくと、脱水症状を起こし、熱中症の原因にもなります。こまめな水分補給を心がけましょう。



2. 皮膚のケア

こまめに汗をふいたり、シャワーを浴びたりして、皮膚を清潔に保ちましょう。

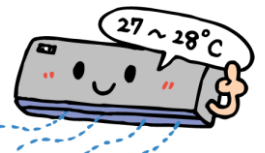
3. 紫外線対策

外出時は帽子をかぶり、日焼け止めを塗るなどの紫外線対策も忘れずに。



4. 室温管理

高温・多湿など条件がそろえば、室内でも熱中症は起こります。エアコンを上手に使いましょう。ただ、冷やしすぎには要注意。設定温度 27~28℃を目安にしましょう。



7月の感染症

- ・ノロウイルス 1名
- ・感染性胃腸炎 3名
- ・手足口病 2名
- ・アデノウイルス 1名
- ・ヘルパンギーナ 1名

7月に入ってから、発熱や眼の充血で早退や欠席が多く保護者の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。また、お迎えや病院受診のご協力ありがとうございました。引き続き、衛生管理に努めて参ります。

夏にかけて流行する感染症

東京都では毎年夏に小児を中心に流行する感染症である、手足口病、ヘルパンギーナ及び咽頭結膜熱(プール熱)が流行しています。

手足口病

口の中、手のひら、足の裏などに発疹や水疱ができる。あまり高熱は出ない

ヘルパンギーナ

突然の高熱やのどの痛み。のどの奥に水泡や潰瘍

咽頭結膜炎(アデノウイルス)

発熱、のどの腫れ、目の充血

流行性角結膜炎(アデノウイルス)

結膜の浮腫(むくみ)、充血、まぶたの浮腫、(さらさらとした)目ヤニや涙

